

平和・人権
社会・宗教
政治と暮らし
分かれ合い

No.47

共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10／瀬下幸弘 FAX093-622-1290

ながつき
長月
9
2014

日本カトリック正義と平和全国集会近づく

9月13日(土)午後2時～9月15日(月)午前12時半

いのちを大切にする社会をめざして、大名町教会を主会場に
カトリック司教基調講演・高校生平和大使・奥田牧師・
大塚司教対談等16の分科会と現地学習があります。

(大会当日の参加も受け付けます。 詳細2ページ)

ヘイトスピーチの放置は 戦争前夜に等しい。

日本で行われているヘイトスピーチ（憎悪表現）は、ひどいものです。特に「在特会」とよばれる極右グループが、自ら主催する反韓デモで「朝鮮人は日本から出て行け」「韓国人を殺せ」発言や、昨年、大阪で女子中学生が「もう殺してあげたい。東京大虐殺でなくて、鶴橋大虐殺を実行しますよ」と街頭スピーチしたことは有名です。日韓で歴史認識問題と旧日本軍「慰安婦」問題は双方の政府に大きな隔たりがあります。そのような中で、国連規約人権委員会から日本政府に対し人種差別や対立をあおるヘイトスピーチの禁止を求める改善勧告が出されています。しかし「下関市では5月27日、山口朝鮮初中級学校の高校無償化等を求めて市役所前にひろばでサイレントデモが行われていました。そこへ在特会が来てヘイトスピーチをし、座り込んでいる団体が許可を取つていないと市に抗議し、市は「デモや座り込みを行ってはいけません」という立て看板を設置。戦後69年間、あの場所でさまざまな小集会など事前許可なく開いて自由にできたにもかかわらず、よりによつてヘイトスピーチによってこのようなことをすることは……」との声が届いています。政府が勧告に従うことを早急に求められているのです。

国連人権差別撤廃委員会が日本に勧告

日本で行われているヘイトスピーチ（憎悪表現）は、ひどいものです。特に「在特会」とよばれる極右グループが、自ら主催する反韓デモで「朝鮮人は日本から出て行け」「韓国人を殺せ」発言や、昨年、大阪で女子中学生が「もう殺してあげたい。東京大虐殺でなくて、鶴橋大虐殺を実行しますよ」と街頭スピーチしたことは有名です。日韓で歴史認識問題と旧日本軍「慰安婦」問題は双方の政府に大きな隔たりがあります。そのような中で、国連規約人権委員会から日本政府に対し人種差別や対立をあおるヘイトスピーチの禁止を求める改善勧告が出されています。しかし「下関市では5月27日、山口朝鮮初中級学校の高校無償化等を求めて市役所前にひろばでサイレントデモが行われていました。そこへ在特会が来てヘイトスピーチをし、座り込んでいる団体が許可を取つていないと市に抗議し、市は「デモや座り込みを行ってはいけません」という立て看板を設置。戦後69年間、あの場所でさまざまな小集会など事前許可なく開いて自由にできたにもかかわらず、よりによつてヘイトスピーチによってこのようなことをすることは……」との声が届いています。政府が勧告に従うことを早急に求められているのです。

9月のお知らせ

- ◆9月6日(土)中村哲講演会(若松市民会館) …14時
アフガンに命の水を(若松九条の会)
- ◆9月9日(火)社会福音部会(アドラック) …13時30分
- ◆9月11日(月)原発ゼロをめざす署名行動(JR黒崎駅前)…17時
- ◆9月13日(土)
9月14日(日)
9月15日(月) 日本カトリック正義と平和全国集会
2014福岡大会(大名町教会を中心に)
- ◆9月21日(日)戦争遺跡ツアー(p5) 戸畠駅 …13時
- ◆9月27日(土)・28日(日)平和のための戦争展in北九州
- ◆10月4日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時
- ◆10月4日(土)松浦司教講演(西南KCC)キリスト者9条…14時

ときのことば

原発、沖縄、憲法、大きな課題を目の前に突きつけられて、みんな必死に抵抗しています。それだけが希望です。
西山 進さんのお便りから

援助修道会 修道院より

9月11日:イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。
どなたでもお出でください。

【正義と平和全国集会最終お知らせ】

- 当日参加受付窓口を用意しています。
また、分科会に直接参加も出来ます。
(大会参加費1,000円をお願いします。)
- 駐車場は近隣のパーキングをご利用下さい。
- 9月13日(土)6時30分から交流会(夕食)があります。ご希望の方はお一人3,000円。
- 8月24日現在で、820名を超える参加を頂いています。宮原司教様は、「社会への取り組みをもっと推進していけるような大会となることを願います。特に第2バチカン公会議にあるように、教会が社会の中に入っていくなければいけない。」と話され、大会後の取組をも後押しされているようです。



▼下関からの出店グループ
ロロサエ♡マイシャ



◀好評だった平和コント
キリスト者9条の会
▼バンドグループが
会場の雰囲気を
盛り上げました。



▲出店グループ
ACO&レプトン会



▲子どもの広場でも
平和を学ぶ



▲子どもの広場で習った手話。コーラスを
平和祈願で歌とともに。

8月
10日
(日)

第14回北九州平和の集い（カトリック小倉教会）

平和を願う祈りと行動がひとつに

小雨が降っていましたが、心配された台風が逸れ、無事開催することができました。今年の参加者は、例年より多く三五〇人は超えていたようです。メイン講師の中村彰神父は、9月の正義と平和全国集会が福岡で開催されるようになつたことを「時のしるしを感じます」と話しました。

2013年11月9日 下関講演

※編集の都合上、講演内容
の要点を掲載しています。
文責／編集部

日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(10)



前号のポイント

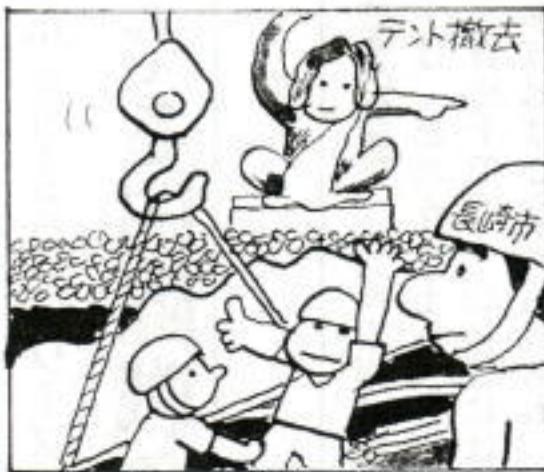
橋下大阪市長の発言などは本人たちにとってまさに拷問に値するものだが、拷問している側は何も思っていないので平氣。また、事実についても加害者と被害者間にギャップがあること。

ところが「慰安婦」にされていた方たちは、その期間だけでなく、それ以前もそれ以後の人生でも、どういう状況の中で、どうしてこういうことになってしまったのかが50年前のことでも忘れられないでいるのです。こんなに苦しみぬいているのに周りの人に話したこともない。加害者(元兵士)も被害者も両方とも事実だと思うのですが、あまりにも差があります。その後何十年の歳月の間に、同じ苦しい思いの仲間たちが亡くなっていく中で、殺されていった人たちの思いも含めて(彼女たちは)証言していく人たちへとなっていったわけです。活動家になっていったんです。ところが「事実は違うんだ」と

いう人たちがいます。娼婦だったんだ、売春婦だったんだと言っている人々は、それが“事実”だと思っています。またそういう「従軍慰安婦」制度があったことを、あるいは文書があることを知りながらも「日本の恥」「日本の名誉を守る」ために絶対これは認めてはいけないと思っている確信部分の人たちもいます。安倍首相などは完全にそうです。核になっている人々は絶対に認めたくないのです。当時の軍隊のトップが天皇でしたから天皇の責任問題となってくるのです。そうなると戦後、互いの妥協の中で目をつぶってもらった部分などいろいろありますね。原爆の問題もですが、免罪にしてもらった部分が全部吹き出てくるんです。私たちの1990年代の女性運動からの流れ、ジェンダーが主流となり世界の法律でいろいろなものができても、変えることが出来ないものが国家の名誉です。その中でも非常に排外的なナショナリズムというものがあります。それを表したもののが大阪市長の発言だったんです。(次号へ)



朝日新聞の「ナガサキノート」に25回にわたって連載された私のことが縁で、ナガサキで被曝の実相を継承するために活動している調さんや松田さん、西岡さんたち多くの人たちとの出会いがありました。今回もそのヒトコマです。



ところが台風11号が、北上、予報によると、の日原爆の日は台風の中心は長崎の線上に。主催者の長崎市は早々に会場のテントを撤去。台風に備えた。

8月の日の長崎原爆の日。テレビ長崎から出演を依頼された。



被爆69周年 長崎原爆犠牲者 慰靈平和式典



一台風もそれでー



テレビ長崎の報道部記者の橋場さんはハラハラドキドキ。最近、私の足はむくんで腫れが酷くなつた。四つの大きな病院で見てもらつたが、原因がわからない。昔、ネバダの核実験で被爆した、アメリカ軍兵士スミザーマンさんのグローブのような手を思い出した。



西山進さんご自身の漫画新聞です。原爆被爆者ならではの観点からの号外新聞です。B4サイズの新聞ですが、紙面の関係で、本紙サイズに変更しています。10月号あと半分を掲載しますので、つなぎあわせてください。 編集部より

家内に手伝つてもひつてやつと靴下がはけた。
午後三時十五分、博多駅発「つばめ」午後五時、長崎駅の細長いホームに降りる。

テレビ長崎のスタッフが車いすをもつて待っていた。体重八六・五キロ。半端じゃない、まるでひじかの組のドンだ。「喪服着用来てください」とうことで黒ずくめ。じつとビックリ段差に気配りしながらホテルに入る。

8月の日

迎えが来て午前10時スタジオに入る。緊張はなかつた。正面に大きなモニターテレビがあつて、隣にもう一つサブのテ

レビがあった。
放送が始まった。

「長崎の平和公園です。あの日かいつの年を迎えるました」
(次回へ)



麻薬をめぐる国際戦争

秋吉久紀夫

②

二、英國と中國とのアヘン戦争の実態(一)
ところでアヘンと言えば、忘れる
ことのできないのは、世界史上で古
来著名なアヘン戦争を挙げねばなら
ない。それにはアヘン戦争の発生源
であるイギリスに、なぜ東インド会
社が設立されたかを抜きにはできな
い。先ずエリザベス統治下の初期重
商主義国家イギリスで、女王の特許
状によつて「喜望峰からマゼラン海
峽にいたる地域」の一五年間にわた
る貿易独占権を与えたのが「東
インド会社」で、それは一六〇〇年
であつた。この商業資本の当初の目
的是、英國のバーミンガム・シユフ
イルドの製作した金属製品やグロス
タシャの毛織物、マンチエスターの
綿製品などなどであり、逆に中国か
らの輸出品は、先ず紅茶が主要なもの
ので、次いで絹、陶磁器などであつ
た。それに東インド諸島産の胡椒や
その他の香料も貿易商品として輸入
されていた。が英國はやがて東イン
ド会社に、毛織物市場開拓と営利追
求主義を強制し、任務を与えられた
船舶は一七五九年以降毎年、中國東

南沿岸の開港に姿を現わし始め、一七五九年以後、一〇隻前後、一七七〇年代には、二〇隻前後を数える年も見られ、一七八六年、多国籍船一七隻に対し英國国籍船舶は六二隻に達していた。

さらに中国政府に輸入禁止となつていたインド北東部のガンジスカン河下流のベンガル産アヘンに、東インド会社は目をつけ、許可も申請せず武装船に積み込み、堂々と中国の港へ運び始めた。そのため東インド会社の一八二七年から一八二七年のアヘンの総専売利益は、一八四万〇五〇三ポンド・スターライングとなり総歳入の一ニ%にも達していた。アヘン貿易が軌道にのつたことで、イギリスの貿易赤字は急速に減少し黒字に逆転、国家の税収もたちまち大幅に増大した。

一八三五年に入ると、全中国のアヘン喫煙者は少なくとも二〇〇万人に達していた。上は王族や朝臣、官僚から、下は兵士、労働者、都市住民にいたるまで、地域は広東、福建など沿海部から貴州、四川など、全

国一〇数省にまで広がった。清朝政府は再三、禁止令を発したが効果はあらわれなかつた。道光帝は苛立つた。国庫にたっぷりあつたはずの銀が大量に海外へ流出し、国家資産が大幅に目減りしたことがあつたが、それ以上に皇帝自身の權威がないがしろにされたと受け止めたからである。折しも皇帝のお膝元である北京で、王族の血を引く莊親王ら貴族數人がアヘンを喫煙していたことが発覚し、天津でも価格にして一三万両のアヘンが摘発されたことから、道光帝は衝撃を受け、アヘン禁止論者が宮廷内で主流を占めだした。そのなかでも湖北、湖南の長官であつた湖廣總督の林則徐が提出した「もしこれ以上うやむやにしていれば、數一〇年後には中原に敵に抵抗すべき兵士を徴用することができなくなり、軍の食料を賄う銀もなくなるだろう。」という上申書に、道光帝の眼は輝いた。

一八三九年三月一〇日、林則徐はやつと広東省の省都の広州に到着した。欽差大臣を迎える埠頭で、ドッドーンと九発の礼砲が連續して発せられる中、多くの広東の高官たちが出迎えた。林則徐は着くやいなや急速、期限一年と決めたアヘン禁煙条例を発布した。さらに広州の煙館を閉鎖して、アヘン密売者二二〇〇人を摘発したほか、アヘン七〇万両と喫煙用のキセル七五〇〇本を没収し賄賂を受け取っていた地方官僚らを逮捕した。その一方、外国人貿易商人に大しても、仲介業者である中国人商人を通じて、「今後一切、外国人からアヘンを輸入してはならない」という厳しい禁止条例を通告した。

「遊就館」内を見学



「戦闘機」のレプリカがある。その他にも「人間魚雷」や「伏りゅう」、小型のペニヤ板で作った特攻艇「震洋(しんよう)」など敵を攻撃するための様々な兵器を遊就館には展示してある。今でいえば、軍事産業見本市のミニ版のようだが、人間が死を前提に特攻させられる「人間兵器」展示が靖國神社の本質の一端を覗かせている。ここは表向き「神社」となっている。しかし戦争のない平和を望む者なら少なくとも人間を抹殺する兵器の陳列には不快感を抱くはずだ。では遊就館は見学者に何を感じさせようとしているのか。この人間兵器物陳列で終わらせないとこに遊就館のネライがあるようだ。順路にそってゆくとその部屋がある。「靖國の神々」とある。これまでの遺書や遺品、武具、武器類を見せられて後の最終展示場らしい。そこは・・・。

ツイッター

中村哲講演会のお知らせ

アフガンに命の水を

今この時代に「命」と「平和」を考える

とき/2014年9月6日 午後2時

ところ/若松市民会館大ホール

わかまつ9条の会 ☎771-0124 玉井

戦争遺跡ツアーがあります

9月21日(日) バス代 500円

戸畠駅→高遠山→軍艦防波堤→
八幡東小伊藤山→八幡駅お申し込みは編集部まで
FAX 093-622-1290

みなさん、来てください。(北)

反核医師のつどい2014 in福岡

とき:11月1日(土)13時~18時20分

場所:都久志会館(福岡市中央区天神4-8-10)

テーマ:核はいつちよん好かん

~作るばい安全な未来、核なき世界~

記念講演:伊藤千尋(朝日新聞文化くらし報道部)

学習講演:纏織 厚(山口大学副学長)

11月1日(土)はどなたでもご参加下さい。無料

※参加申込み書は「共に生きる」編集部にあります。

《アムネスティ》下関通信(5)



毎年終戦記念日の頃は、幼い日小さい防空頭巾を被り手をひかれて防空壕へ入ったことを思い出します。その壕を掘ってくれた屈強な二人の朝鮮人男性の姿が私の原風景にあります。

70才も過ぎて、『イアンフとよばれた戦場の少女』という本(川田文子著、高文館)を読み、日本軍の“部隊付き慰安婦”にされた女性たちは、私が自宅の防空壕で守られていた頃、弾丸飛び交う戦場で「人間一人が寝られるぐらいの穴を掘って」性奴隸労働についておられたことを知りました。

下関は'93年から5年間「慰安婦裁判」(通称関釜裁判)が行われ、国に有罪判決(下関判決)が出たことで有名です。判決文には、「ナチスの蛮行に準ずる人権侵害、戦後も放置し続けたことは立法不作為による二重の人権侵害」と謳われました。2000年に東京で



持たれた「女性国際戦犯法廷」(元慰安婦8ヶ国から64名、海外から390名、延べ5000人)では、下関判決が高く評価され度々引用されました。誰も口にできなかった天皇と日

本政府に有罪判決を出したこの民衆法廷の後は、組織的性暴力への関心が高まり国際アムネや日本アムネが発信する情報も、国連、各国議会、国内「全国行動」等国内外の早期解決運動に共有されてきました。

今年5/31~6/3、東京で「第12回日本軍『慰安婦』問題アジア連帯会議」が開催され(初回はソウル)、8ヶ国から延べ750人が参加。証言集会には7大学で1500人の学生が集いました。会議の成果である政府への「提言」の骨子は「今世界は、重大な人権侵害であった日本軍『慰安婦』問題の解決を切実に求めている。まず被害事実と責任の認定、次に被害者の回復措置を求める」とし、その根拠となる資料53点を、河野談話以後の新資料529点と共に内閣府に提出しました。

今や「慰安婦」問題の焦点は、韓国との二国間を越えて、歴史的、世界的な「女性の人権」問題に移っていると思います。朴槿恵大統領は「未来志向」には正しい歴史認識の象徴「慰安婦」問題の解決を避けては通れないとの姿勢。国同士の交渉の進展を促している韓国憲法裁判所違憲判決('11年)を改めて重視し、両国政府にはねばり強く地道な交渉を重ねてゆく勇気をもってほしいと願います。

(アムネ下関、山県)

沖縄という鏡を通して見える日本国

(10)



日本キリスト教団牧師(沖縄在住)

平 良 修 牧師

建白書を一種の陳情書としか感じ取れない鈍感さは一体何なんでしょう。

そういう中で、「日本よ、変わってほしい」とずっと言つてきました。大江健三郎さんが沖縄ノートという本をかなり前に出しましたが、その中で必死になつて「そのような日本国ではない日本人に生まれ変わることはできないものか」と訴えているんです。そういう風に覚めて苦しむ人もいるわけです。だけどそれに気づかない日本国民がいっぱいいます。現状がわからないから、どう目覚めたらよいかわからない。

沖縄は、日本国で多数決でいけば1しかないのでも、民主主義のルールで言えば負けてしまいます。沖縄の意思是通らないのです。99%が動かないことには。だから99%が変わらないのなら、沖縄が変わらなければならぬのではと考えつめてきました。道州制がありました。沖縄は自決権を保証された州として位置付けたといいう研究もあります。限りなく連邦制に近いくらいの自主性を与えた地域として、沖縄州としての有り様を求める研究もなされています。さらに一步進めて、沖縄の独立を真剣に考えようと今年5月15日に琉球民族独立総合研究学会が発足しました。学会ですから單なる気持ちの問題ではありません。心情の問題ではありません。居酒屋で酒を飲んで勢いに乗つて「わあー独立だあー」と叫んで、次の日にけろつとしているものとは違います。科学生的に研究していくんです。こんなことはかつてありません。つまり日本が変わらなければ沖縄が変わるしかないと。ある意味追

い詰められているんですけど、沖縄は。そういう現実を知つていただかなくてはならないと思います。責任は大きいですよ、福岡県民も。どうしたらよいのでしようか。

最後に。沖縄戦に戻る前の米軍統治時代、沖縄を100%支配していたのは、大統領から派遣された高等弁務官という陸軍中将でした。三権全権を握っていました。沖縄の帝王という本もあります。そう呼びたくなるような権限の持ち主だったんです。その6代で高等弁務官の時代が終わりました。沖縄が復帰しましたから。5代目の就任式の時、私は招かれました。アメリカの大統領は就任式の時、バイブルに手を置いてやりますね。キリスト教的な体裁をとることには慣れています。本当に体裁です。実態は?マークだけです。沖縄の弁務官の時も、現地のプロテスチヤントの牧師とカトリックの司祭を招いて、それぞれプロテスチヤントは自由祈祷、カトリックは正文祈祷を行いました。高等弁務官に「神の祝福がありますように」と祈つてほしいと

いうことです。私は選ばれたんです。人を選び損ねてしまつたんです。私を選んだ人は大変叱られたと後で聞きました。私はかつて選ばれても当たり前な新米クリスチヤンだった。私はかつて選ばれても当然たので、その思い込んでね。ただど人は変わるものでね。う。私はよく変わったと喜んでいるのですが、変わったと知らない人たちとは、昔ながらの平良だと思い込んでしまつて私を推薦したんです。

編 集 後 記

雨、雨、雨、8月はこれまで経験したことのない異常な天気となりました。「じめじめした気分になる」という声が多く聞こえてきました。そんな中、8月10日の平和の集いでは「ガザに平和を」「為政者は戦前帰りのような動きをやめてください」「集団的自衛権行使容認が決定された今だからこそ勇気を持つて声に出す」などの願いが多く出されました。今の日本の現状をよく表しています。1面「ときのことば」は西山さんの「みんな必死で抵抗しています。」です。一人一人にできる抵抗を続けましょう。圧政に立ち向かう時、その抵抗がやがて1つになるでしょう。「それが希望」でもあると思います。(瀬下)